

青森県生協連 2017年度ユニセフのつどい開催報告

1. 日 時 2017年9月11日(月) 10:45～14:40
2. 場 所 コープあおもり集会室
3. 参 加 57人

青森県民生協	21	青森保健生協	4	講師(ユニセフ)	1
コープあおもり	25	弘前大生協	3	県生協連	3

4. スケジュール

10:45～10:50	開会 青森県生協連会長 平野 了三
10:50～11:00	活動報告：会員生協のユニセフ活動より ○コープあおもりのユニセフ活動について 報告者：平和・ユニセフ活動チーム(組合員活動部小山秀人さん)
11:00～12:20	『九州・東北の生協による東ティモール指定募金』 “新生児と母親のためのコミュニティ保健ケアの改善” (公財)日本ユニセフ協会 団体・企業事業部 石尾 匠氏
12:20～13:20	昼食休憩 ユニセフバザー(コーヒー、手作り手芸・お菓子)
13:20～14:10	おしゃべりタイム
14:10～14:25	おしゃべり内容の紹介
14:25～14:30	閉会 県生協連常務理事 鎌田 敦子

5. 概 要

・「2017年度ユニセフのつどい」を開催し、58名の参加がありました。会員生協の活動報告としてコープあおもり組合員活動部の小山さんより、資料にもとづき様々な場面で活動している内容の紹介がありました。続いて、ユニセフ東ティモール・スタディツアーから前日帰国したばかりのユニセフ協会の石尾氏より、ユニセフの取り組みの歴史や課題と、東ティモールの子どもたちや女性の現状と指定募金による「新生児と母親のためのコミュニティ保健ケアの改善」について、クイズやビデオ映像、今回のツアーの写真などを使いわかりやすく報告がされました。

・続いて県生協連の平野会長より、学んだことを活かして今後の取り組みについて話し合いを深めて欲しいとのあいさつがありました。

・午後は8つのグループでの「おしゃべりタイム」で、自己紹介、感想、今後取り組んでみたいユニセフ活動などを話し合い、その内容を発表し合いました。また、石尾さんへの質問が出され、グループ報告後に説明をしていただきました。各グループからは、ユニセフの基本に始まり、数値だけでなくDVD映像やクイズなども使った報告で今までで一番わかりやすかったなどの感想や、1円からの募金活動を色々な場面で広げたい、学校での取り組みを呼びかけたい、ハンドインハンドを実施したい、県連を核にして県内生協と一緒に取り組めるようになりたいなどの意見が出されました。最後に県連の鎌田常務から、県内生協がつながって活動していきたいという想いを形にしていきたいとの挨拶で閉会しました。

<参加者の感想から>

- ①指定募金が活かされて母親支援グループが育って活動していることや改善が進んでいることが良くわかり、大変うれしく思った。目標に向けて活動する意味がわかった。
- ②日本が戦後 15 年間も支援を受けていたことを知り、長く支援を続けたいと思った。
- ③映像を使っでの報告がとてもわかりやすかったので、地域でも活用したい。
- ④東ティモールをもっと近く感じる活動をすすめたい。店舗での活動や、小中学生への啓もう活動を続けたい、広げたい。
- ⑤県連を軸に県内の生協が協力しての取り組みをすすめたい。

ユニセフのつどい 2017 の様子

		
<p>県生協連 鎌田常務</p>	<p>ユニセフ協会 石尾さん</p>	<p>青森県生協連 平野会長</p>
	 <p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">ユニセフ協会の石尾さんも交えてのグループワーク（おしゃべりタイム）</p>	
<p>コープあおもり小山さん</p>		
<p>生協間の交流も深めながら</p>	<p>これから進めたいことを話し合う</p>	<p>学生さんも交えて</p>
		
<p>真剣に想いを出し合い</p>	<p>会場は熱気むんむん</p>	
		
<p>みんなの考えをまとめて</p>	<p>県連への期待も出された発表</p>	<p>質問に答える石尾さん</p>

【おしゃべりタイムのまとめ】「これから取り組んでみたいこと」

■Aグループ

- ・募金箱を置いているだけでは風化してしまう
- ・企画やイベントと組み合わせる（注目してもらう）
流しそうめんなど 企画のときに募金箱を設置する
東ティモールのコーヒーなどを案内する
- ・コアノンだけでなく募金の対象商品を増やす
- ・コアノンロールの良さ、ユニセフ募金などのことを伝え供給を増やす
- ・フリマ
- ・日常の活動を継続することは難しい⇒こうしたつどいに参加し、想いをつないでいけるようにしていけたらいい。また組織としても全体に伝えていくことが大切。

■Bグループ（マコ&ケイ）

- ・学校関係：ユニセフのパネルやビデオを大学生に見せ活動を提案してもらう。外に向かって活動するためには、責任をもって取り組む人数が必要。
- ・継続するための努力と提案が必要（方針化）
- ・学生さんはユニセフという名前は知っていても何をやっているのか詳しく知らない。
⇒まずは、知っていただくことが難関。
- ・若い人が続けていけるような取り組みと形を作って欲しい。若い人が活動できる仲間作りをして欲しい。

※ただ数字とビデオで訴えるだけでなく、楽しみながら笑顔で活動できることを考えてみてはどうでしょうか？ハンドインハンドで音楽。

※試食会とかフリーマーケットとか者と交換の場に人が集まってくる。

- ・自分たちの今の生活が当たり前と思っているが、平和で恵まれているからのことであって、本当は当たり前のことではない。世界にはいろんな国があることを伝えたい。

■Cグループ

- ・ネパールの指定募金の時に、ネパールから弘前大学に留学していた方の話を聞いて活動につながった。
- ・店舗や地域の募金は定期的にお知らせしたら、もっと募金のきっかけになる。
- ・ハンドインハンドの時期が、北国では外での活動はしんどい。店舗内でやらせていただけたところはありがたい。
- ・コアノンロールのような商品を買ってできる募金は、知らないうちにできる募金で良い。他の商品でできないか。

■Dグループ

- ・ハンドインハンド募金を各生協が合同で行う提案。県連が先に立って！
- ・PTAを通して学校へのユニセフパネル展示。DVDでも
- ・コアノンスクールプロジェクトのようにもっと商品を広げてほしい。

■Eグループ

- ・長く続けていくことが大切（和徳店でのリサイクル、カルチャロードのパネル展、カレンダー募金など）
- ・店舗でのお知らせ活動（ポスター掲示、買い物かごにチラシ・レジ横に募金箱1円から）運営委員会があるのでお話ししてみます。
- ・人が多く集まる場所での募金活動やお知らせ活動を広めることが必要。
- ・各地域での学習会をもっとやっても良いのでは
- ・OCRで記入しなくても定期的に（月1回とか）引き落とされるようにならないかなあ。

■F（フレッシュ）グループ

- ・お祭りやイベントで子どもたちにお土産をあげる時に、募金箱を置いてみる。
- ・自分たちだって平和じゃなくなるかわからない！今から始めてみましょう。
- ・お店やカウンターに常設（ポスターも貼ってPRしたい）
- ・他生協とも一緒に行動できるものがあればいいなあ。（もっと交流を持ちたい）

■G（グラッドマザー）グループ

- ・お店での募金活動の仕方
- * コープあおもり青森地域と県民生協アカシア館の運営委員さんと一緒にできないか
- * 生協どうし一緒に行動する、生協のお店で一斉に行動、1円募金・・1円でできること、10円でできること、100円でできることをお知らせする。
- ・DVDなどを観る活動
- ユニセフをどう取り組むか？ユニセフのつどいを運営委員で話し合う。自分で知らないとお願ひできない
- ・コアノンスマイルスクールPJをお店でポスターでお知らせ。生協のお店のトイレを使ってお知らせする。

■H（英知）グループ

- ・継続しての募金活動は大事：店舗でお知らせしていきたい。目につくところに箱をおくことが大事。
- ・積極的に活動することも大事：目に見える活動・・気軽にできる方法として、1円募金・・意識的に1円からでも出せるように、色々なところに箱をおく。
- ・東ティモールのコーヒーを生協でも（店舗でも）扱えないか（数量限定でも良いので）これが東ティモールのコーヒーですよとお知らせすることで募金にもつながると思う。コアノンのように買うと1円募金できるようになれば良い。

【交流された感想より】

- ・私たちはもう少し動かなくてはと感じた。
- ・世界中の子どもたちを支援していきたい。
- ・戦争に巻き込まれ、関係ない子どもたちがケガをするなどかわいそう。

- ・生活が貧困で栄養がとれないなど、生活指導も必要だと思う。
- ・やはり世界が平和でないのだめだと感じた。
- ・各地域の平和ユニセフ活動でも今日の事を報告できれば良い・・・はばたきなどで紹介してほしい。
- ・15年間も日本で支援を受けたのでお返ししていきたい。
- ・指定募金がどう使われているのかよくわかった。
- ・支援が必要な子どもたちがいるが、1人では何もできないので、みんなで助け合っていたら良い。
- ・昨年も報告を聞いたが、インフラなどが少し進んだように感じた。成果が見えるので、このような報告は大切だと思う。
- ・世界の子どもや世界の状況について知りえたことが良かった。現実の映像は数値より理解につながった。
- ・指定募金について3年間という期限を初めて知った。
- ・ユニセフのクイズに答えられなかったことで自分が詳しく何も知らなかった事を感じた。数字とビデオとクイズでとても身近な事として感じました。
- ・すごくわかりやすかった。何円でも何十円でも少しのお金でも大事ということを実感。
- ・ユニセフの名前は知っているが、実際に現地に行った方からこういう場所でこういう使われ方をしている事や現地の方が育っている話を聞いて良かった。
- ・基本的なことを伝えることが大事。
- ・日本がお世話になった。
- ・映像で見られて良かった。わかって募金できる。
- ・今日が一番良かった。クイズ形式も良かった。
- ・募金している人も今日の内容は知らないのでは？
- ・コープあおもりの募金の実績はすごい。

【次回への期待など】

- ・DVDと資料がとにかくわかりやすかったので、次回もわかりやすくお願いします。
- ・現地で活動する人たちの声を聞きたいです。
- ・次回もその後の石尾さんのお話を聞きたいです。
- ・質問タイムを設けてほしい。次の予定があるので、時間通りに終わって欲しい。
- ・グッズの紹介もあれば良い。
- ・地域生協の方々とお話しできる貴重な機会だった。
- ・我々の生協ではユニセフに関する取組みが遅れている部分が多くあります。今後、私が先頭に立って、様々な取り組みを行っていこうと思います。